

11/13 <講演会>「海外子会社 立て直しスペシャリスト：海外駐在20年以上、悪戦苦闘日本人1人 VS 現地社員」報告

2019年11月13日(水)、元富士フイルム 東欧地域統括社長 イベリア地域統括社長、藤井 宏尚氏をお招きして、産業研究所講演会「海外子会社 立て直しスペシャリスト：海外駐在20年以上、悪戦苦闘 日本人1人 VS 現地社員」を開催いたしました。

Fujifilmの海外営業の専門家として、通算21年海外駐在され、アメリカ、タイ、スペイン、ポーランド等で海外子会社の立て直しスペシャリストとして、どのように組織改革に取り組み、成功したか、その国の文化や国民性を理解、尊重するために実際にとられた行動のエピソードも交えながらお話いただきました。

この講演を通して、学生時代に何かやりたいことの目標を決め、失敗を恐れず積極的に行動し、やり抜く力を鍛えることの大切さや、その経験が社会に出てからの重要なトレーニングになること、また、「学生のうちに、国内だけではなく世界に視野を広げて、世界に通用する国際人になる努力せよ」との熱いメッセージをいただきました。

講演後は、海外駐在員の生活や英語習得法、海外からみた日本の会社について等、学生や参加者との活発な質疑応答が行われました。

(この講演会は経済学部開講「経済事情C(2011)(担当教員：アンナ・シュラーデ准教授)」の一環として開催いたしました。)

■参加者： 67名

